CORONA

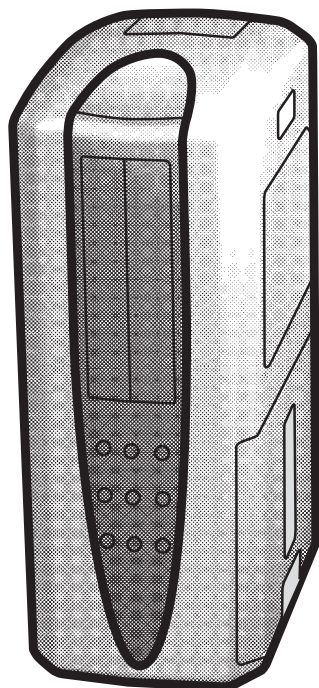
コロナ冷風・衣類乾燥除湿機

取扱説明書

シー ディー エム
CDM-148

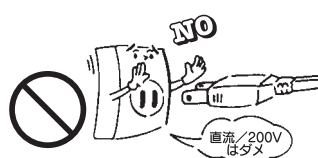
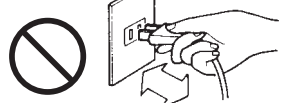
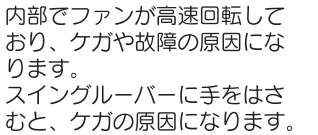
もくじ

ページ

1 安全上のご注意…………………… 1～2
2 知っておいていただきたいこと……… 3
3 各部のなまえとはたらき……………… 4
4 運転前の準備…………………………… 5
5 運転の種類……………………………… 5
6 運転のしかた…………………………… 6
7 切タイマー運転………………………… 7
8 内部乾燥運転…………………………… 7
9 吹出方向の切りかえ……………… 7～8
10 排熱ダクトの使いかた………………… 9
11 標準ダクトパネルについて…………… 9
12 満水のお知らせとタンクの水のすてかた…10
13 連続排水………………………………11
14 キャスター移動………………………11
15 お手入れのしかた…………………… 12
16 このようなときには………………… 13
17 仕様…………………………………… 14
18 修理・保証…………………………… 14

特　色

1. 本格冷風
2. パワフル除湿
3. スピード衣類乾燥
4. 大型5.8Lタンク
5. ツインコンプレッサー搭載
6. 排熱ダクト付属（本体収納可）
7. 標準ダクトパネル（HDP-70M）付属
   ※取付可能窓高さ 82㎝～133㎝

エアコンと違い部屋全体を冷房することはできません。閉めきった場所で使われた場合には、むしろ室温が上がります。

このたびは、コロナ冷風･衣類乾燥除湿機をお買いあげいただきましてありがとうございました。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を十分にお心得になったうえで正しくご使用ください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に「保証書」とともに大切に保管してください。

1 安全上のご注意（必ずお守りください）

■お使いになる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
■ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味はつぎのようになっています。

⚠警告　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意　誤った取り扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

絵表示の例

⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

❶記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な行為の指示）が描かれています。

■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

安全に使っていただくために

⚠警告

交流100V以外で使わない

定格以外の電圧で使用すると感電や火災の原因になります。

電源コードの途中での接続、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線はしない

感電や発熱・火災の原因になります。

電源コードは折ったり、束ねたり、引っ張ったり、重い物をのせたり、加熱や加工したりしない

電源コードが破損して、感電や発熱・火災の原因になります。

長時間冷風を身体に直接あてたり、冷し過ぎない

体調悪化・健康障害の原因になります。

発熱器具の近くに置かない

樹脂部分が溶けて引火する原因になることがあります。

スプレーなどの缶を本体の近くに置かない

爆発や火災の原因になります。

ぬれた手でボタンやルーバーなどの操作をしない

感電の原因になります。

運転中に、電源プラグを抜いて停止しない

感電や火災の原因になります。

吹出口・吸込口・排熱口に指や棒などを入れない、スイングしているルーバーにさわらない

内部でファンが高速回転しており、ケガや故障の原因になります。
スイングルーバーに手をはさむと、ケガの原因になります。

電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根もとまで確実に差しこむ

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

⚠注意

本体からの風が直接あたる所で燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

お手入れのときは必ずスイッチを「停止」にし、プラグも抜く

内部でファンが高速回転しておりますので、ケガの原因になることがあります。

本体を水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせない

本体内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や漏電火災の原因になることがあります。

移動するときは必ず運転を停止し、排水タンクの水をすて器具を傾けない

水もれして家財などをぬらしたり、漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

安全に使っていただくために

⚠注意

本体の上にのったり、腰掛けたりしない

落下・転倒などによりケガの原因になることがあります。

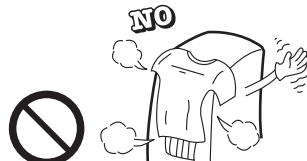
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になることがあります。

同じ場所で長期間ご使用の場合は、本体下部や床の周辺・壁などの汚れに注意する

排熱口の風があたる壁などに、汚れた跡が残る場合があります。同じ場所で長時間ご使用の場合は、壁や床など早めの清掃をしてください。

吹出口・吸込口・排熱口をふさがない

風通しが悪くなり発熱・発火の原因になることがあります。

別荘など無人で長時間連続で使用するときは、特にエアフィルターや排水ホースなどを定期的に点検する

過熱や水もれの原因になることがあります。

長期間使用しない場合は安全のため電源プラグをコンセントから抜く

感電や漏電火災の原因になることがあります。

本体内部の熱交換器のアルミフィンにさわらない

ケガの原因になることがあります。

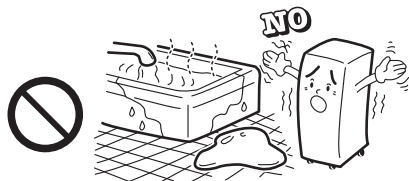
除湿水を飲料用・飼育用などに使用しない

健康を害する原因になることがあります。

設置について

⚠注意

水のかかりやすい場所で使用しない

感電や漏電火災の原因になることがあります。

油・可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない

万一もれて本体の周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

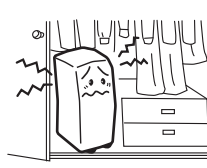
屋内専用なので直射日光のあたる場所・雨風のあたる場所で使用しない

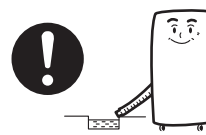
過熱や感電・漏電火災の原因になることがあります。

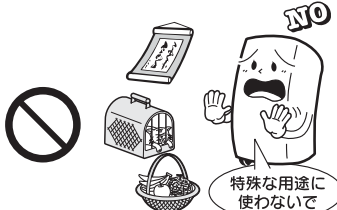
水平で丈夫な場所で使用する

ご使用中に本体が傾くと水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。

押し入れ・家具のすきまなど狭い場所で使用しない

風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。

連続排水する場合はホースの折れ曲がり・落差などに注意し、確実に排水するように配管する

水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。

美術品や学術資料などの保存など、特殊用途には使用しない

保存品の品質低下などの原因になることがあります。

水蒸気の充満する所や水気の多い場所など、設置場所によってはアースが必要

不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

排水ホースを使用する場合は、ホースの周囲が氷点下にならないようにする

ホース内部の水が凍結し、本体内部の水が室内に水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。

薬品を扱う場所で使用しない（病院、工場、実験室、美容院 その他）

空気中に溶けた薬品や洗剤により除湿機が劣化し、ひび割れや水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。

修理について

⚠警告

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き、修理を依頼する

異常のまま運転を続けると故障や感電・火災などの原因になります。

修理は、お買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口に依頼する

修理に不備があると感電・火災などの原因になります。

2 知っておいていただきたいこと

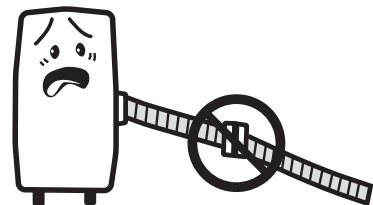
■運転中は室温が上昇します。

■冷風は出ますが、エアコンと違い部屋全体を冷房することはできません。閉めきった部屋で運転すると、排熱により室温が上昇します。
■付属の排熱ダクトを使用することにより、室温の上昇をおさえることができます。また、付属の標準ダクトパネルを使用することで、より効果的に排熱処理をすることができます。(☞９ページ)

■運転可能な部屋の温度について

■運転可能な部屋の温度は5℃～35℃です。
■部屋の温度が35℃を超えると、本体内部の温度が上がるため、保護制御がはたらき運転できないことがあります。
■部屋の温度が５℃以下の場合は、除湿した水が凍りつき霜取り運転が長くなるため、除湿量は減ってきます。

■排熱ダクトについて

■排熱ダクトがつぶれて正常に排熱できない場合は、冷風・除湿能力が低下したり、保護制御がはたらき風量が上がったりして運転できない場合があります。すみやかに、排熱ダクトのつぶれを直してください。
■排熱ダクトの延長をしないでください。
■部屋の温度が30℃を超えると、本体内部の温度が上がるため、冷風「弱」運転中に保護制御がはたらき風量が上がることがあります。
（☞弱モード　5ページ）

■標準ダクトパネルについて

■窓を完全に閉めるときは運転を停止し、排気板が閉じたのを確認してから閉めてください。
（排気板が開いていると、ガラス戸にあたり破損の原因になります。）
■長時間ご使用にならないときや外出されるときには、窓を閉めて窓の鍵をかけてください。
■運転時には排気板が開きますので、あたらないように必ず窓やあみ戸を開けてご使用ください。
※詳しくは、同梱の「ダクトパネル取付説明書」をご覧ください。

■除湿量について

■温度が低くなるにつれて、除湿量は少なくなります。
また、同じ部屋で連続して除湿すると、湿度が下がるため除湿量は減ってきます。

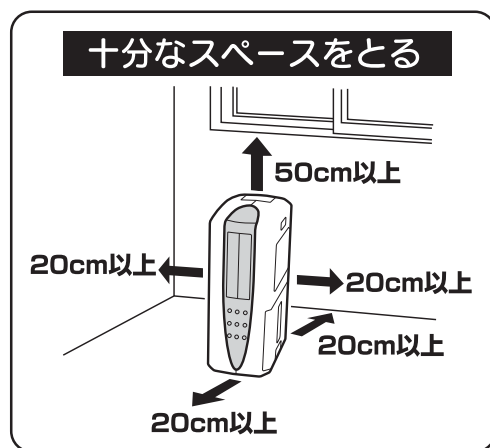
■霜取りについて

■部屋の温度が約15℃以下になると、冷却器に霜が付くことがあります。その場合霜取り運転をおこないます。霜取りが完了しますと運転を再開します。

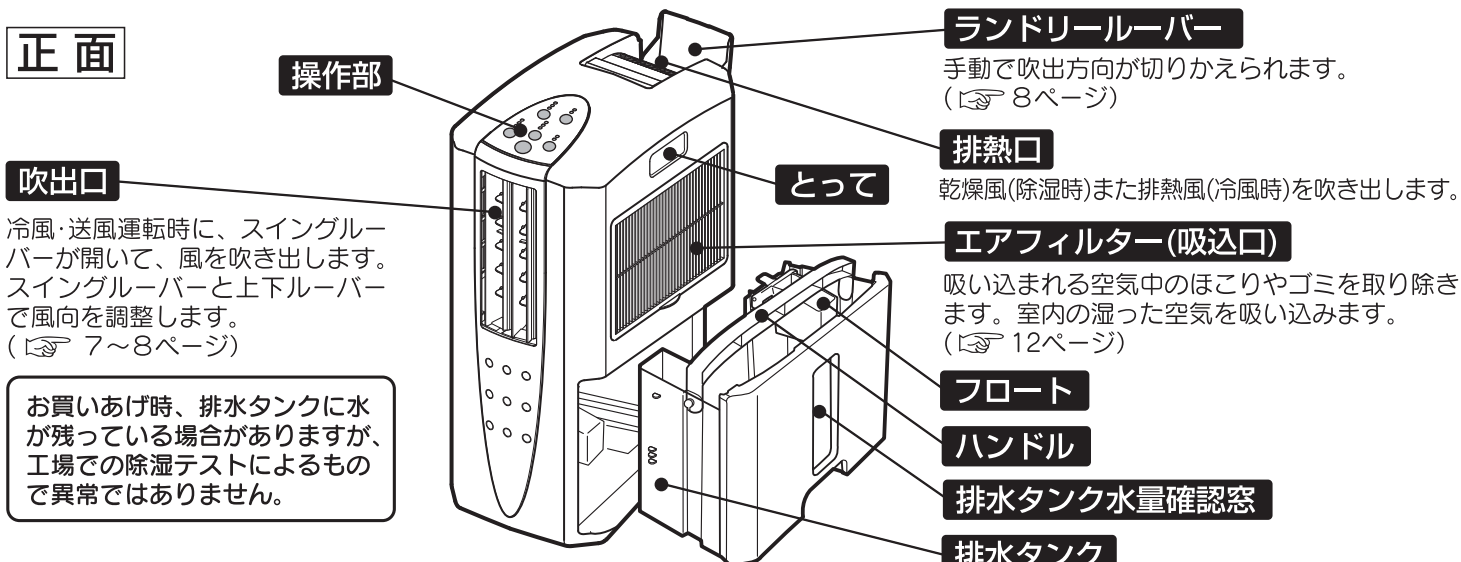
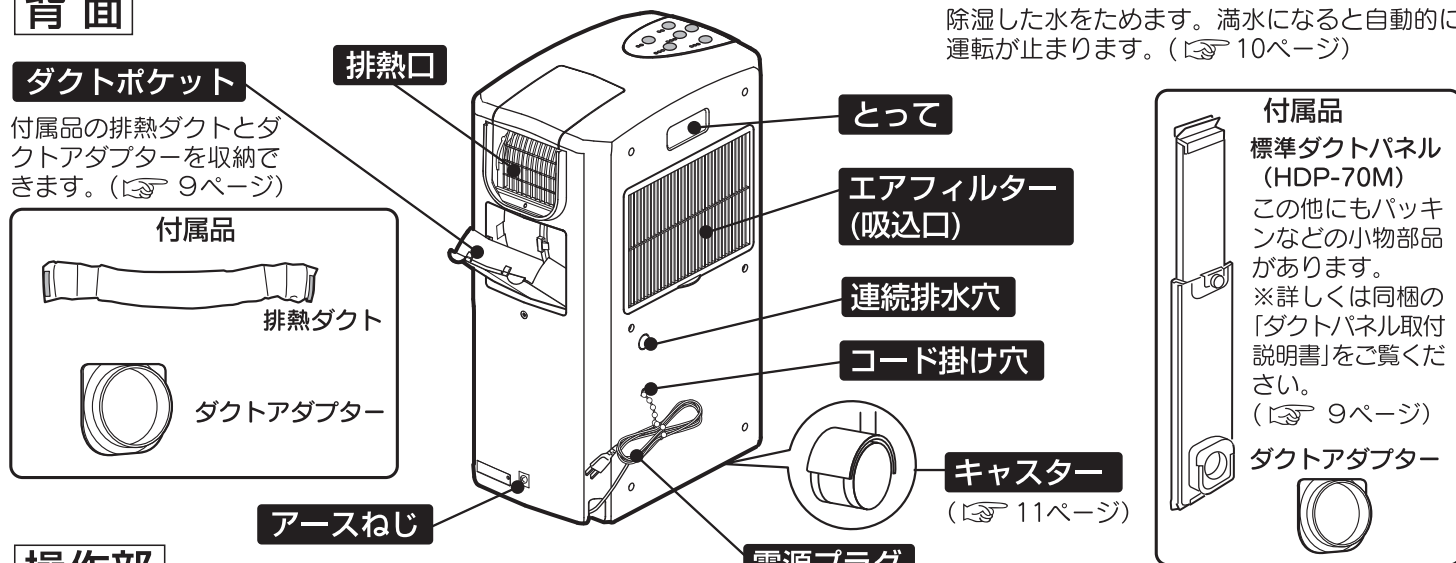
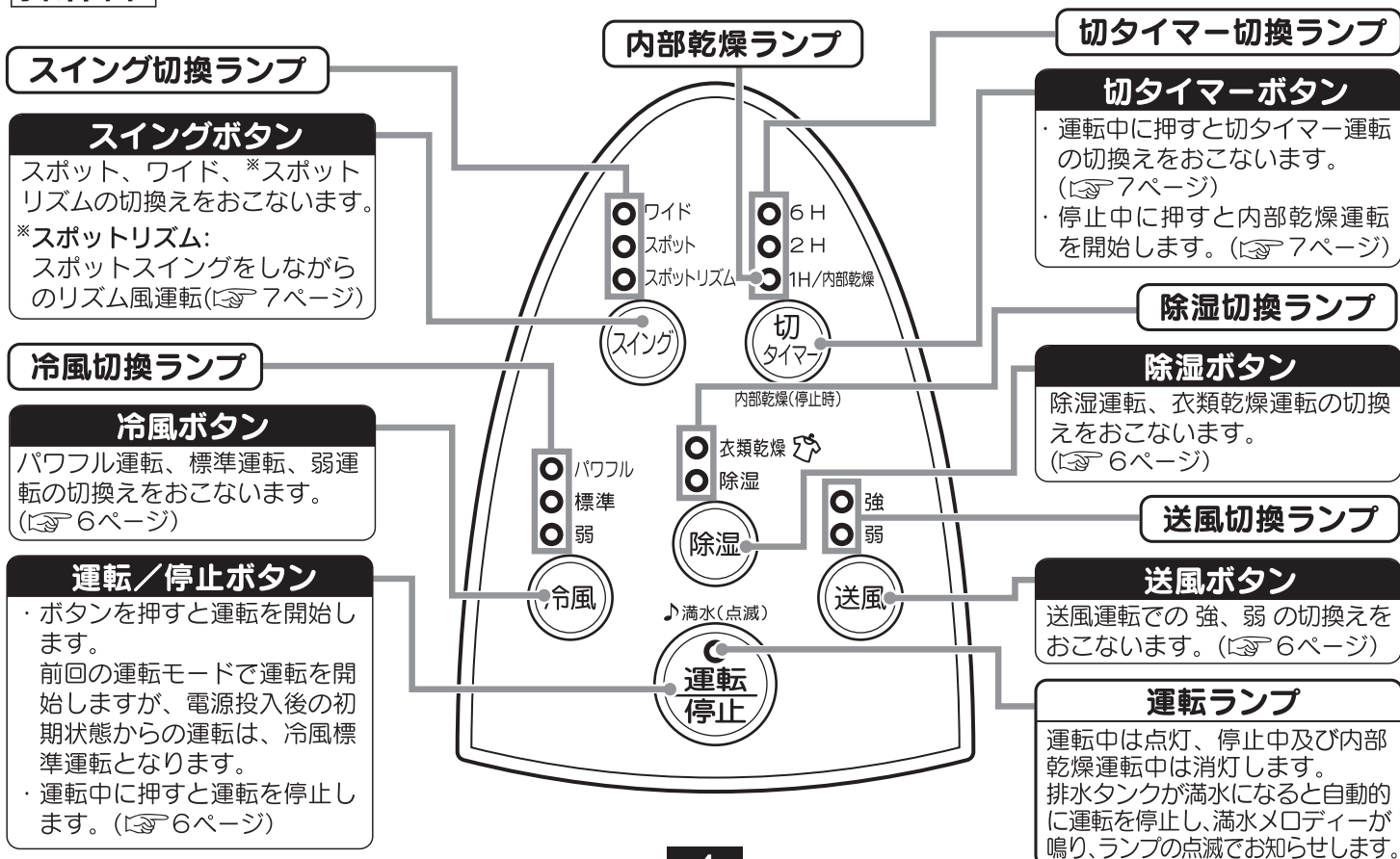
■吹出口・吸込口・排熱口はふさがないでください。

■壁、障害物から十分スペースをとってください。
■吹出口・吸込口・排熱口がふさがれていますと、本体の保護制御がはたらき運転できないことがあります。

ご注意

■テレビやラジオから１m以上はなしてください。
電波障害の原因になります。
■機具は絶対に横倒しや逆さにしないでください。
故障の原因になります。
■**３分遅延について**
冷風・除湿運転を停止してすぐに再開したときは、機械保護のため約３分間送風運転を続けた後、自動的に冷風（除湿）運転に切り換わります。

■アルミフィンについて

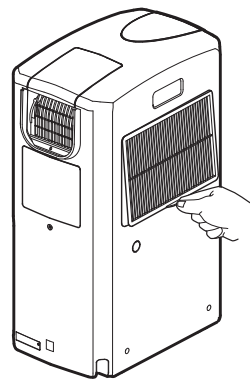
■熱交換器に使用しているアルミフィンは、性能向上のため樹脂の表面処理を実施してます。
銅管のロー付の際の熱により一部変色していますが、性能および耐食性など何ら影響ありません。

3 各部のなまえとはたらき

4 運転前の準備

排水タンクの確認

排水タンクが正しく入っていないと運転できません。この場合満水メロディーが鳴り、運転ランプが点滅してお知らせしますので、排水タンクを取り出して正しく入れ直してください。

エアフィルターのセットの確認

エアフィルターが正しくセットされているかどうかを確認してください。

5 運転の種類

運転の種類		使い方	運転内容
冷　風 (☞ 6ページ)	パワフル	お部屋や脱衣所、キッチンなどに冷風が欲しいとき (お好みで3段階の調節ができます)	風速をあげたパワフルな冷風運転をおこないます。
	標　準		冷風運転をおこないます。
	弱		弱風での冷風運転をおこないます。
除　湿 (☞ 6ページ)	衣類乾燥	衣類などを早く乾燥させたいとき	風速をあげたパワフルな除湿運転をおこないます。
	除　湿	お部屋全体や押入れ、クローゼットなどの湿気をとりたいとき	除湿運転をおこないます。
送　風 (☞ 6ページ)	強	扇風機やサーキュレーターなどのかわりとして使いたいとき (2段階の調節ができます)	強風で送風運転をおこないます。
	弱		弱風で送風運転をおこないます。
スイング (☞ 7ページ)	ワイド	左右の風の届く範囲を選びたいとき (2段階の調節ができます)	約80゜の広角範囲でスイングルーバーが自動で動きます。
	スポット		約40゜の範囲でスイングルーバーが自動で動きます。
	スポットリズム	ゆらぎ感のある自然な風にしたいとき	スポットスイング運転をおこないながら、自動的に風量が変化し、自然に近い風で運転をおこないます。
タイマー (☞ 7ページ)	1H	消し忘れ防止など、セットした時間後に運転を停止させたいとき	1時間運転したあと、自動的に運転を停止します。
	2H		2時間運転したあと、自動的に運転を停止します。
	6H		6時間運転したあと、自動的に運転を停止します。
内部乾燥 (☞ 7ページ)		運転後や長期間使用しないときなど、本体内部を乾燥させ清潔に保ちたいとき	約1時間運転したあと、自動的に運転を停止します。

6 運転のしかた

⚠警告

ぬれた手でボタンやルーバーなどの操作をしないでください。感電の原因になります。

排水タンクが正しく入っているかを確かめてから、運転操作をしてください。(☞ 排水タンクの確認 5ページ)
排水タンクが正しく入っていないと運転しません。（その際は運転開始と同時に、満水メロディーが鳴り運転ランプが点滅してお知らせします。）

1 **電源プラグをコンセント(交流100V)に差しこみます。**

■初期動作としてピッという音が鳴り、全てのランプが約２秒間点灯し、吹出口のスイングルーバーが 全開→ 全閉 動作をおこないます。

2 **運転／停止ボタンを押します。**

■運転を開始します。（運転ランプが点灯します。）

お知らせ
■電源投入後の初期状態から運転を開始した場合は、冷風標準運転となります。一度運転するとその運転内容を記憶し、次回からは停止前と同じ運転をおこないます。

■再度、運転／停止ボタンを押すと運転を停止します。（すべてのランプが消灯します。）

3 **お好みの運転の種類に切りかえます。**

冷風運転

冷風ボタンを押します。

■スイングルーバーが開いて、吹出口より冷風を吹き出します。
■冷風ボタンを１回押すごとに 標準 → パワフル → 弱 に切りかわりますので、ランプを確認のうえお好みの運転を選んでください。
■冷風は正面の吹出口より出ますので、お好みで吹き出し方向に調節してご使用ください。(☞ 7〜8ページ)

お知らせ
■冷風運転をするときは、できるだけ窓を開けてご使用ください。
エアコンではありませんので、お部屋全体を冷やすことはできません。
■お部屋を閉めきったままですと、排熱口より温風が出るため室温が上昇しますが、付属の排熱ダクトを使用することにより、室温の上昇をおさえることができます。
また、付属の標準ダクトパネルを使用することにより、より効果的に排熱処理をすることができます。
(☞ 排熱ダクトの使いかた・標準ダクトパネルについて　9ページ)
■吹出口周辺が結露することがありますが、故障ではありません。

除湿運転

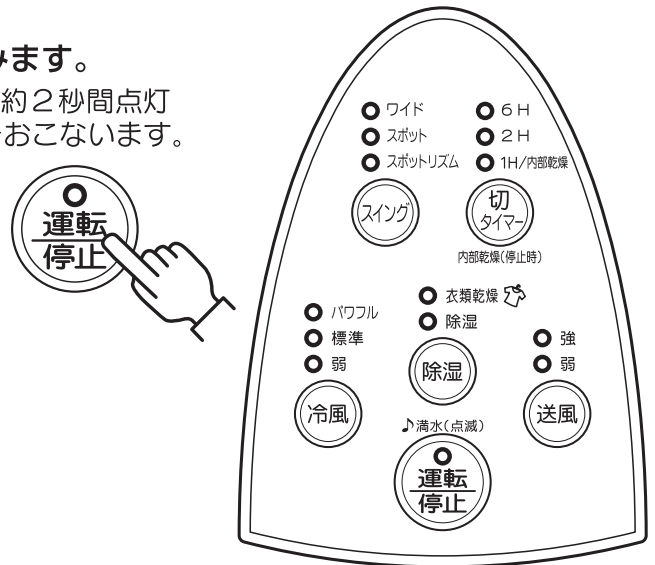
除湿ボタンを押します。

■排熱口より乾燥した風を吹き出します。
■除湿ボタンを１回押すごとに 除湿 ↔ 衣類乾燥 に切りかわりますので、ランプを確認のうえお好みの運転を選んでください。
■用途に合わせてランドリールーバーの向きをかえてご使用ください。(☞8ページ)
※付属の排熱ダクトを取り付けてスポット的に乾燥することもできます。(☞9ページ)

お知らせ
■除湿運転時はスイングルーバーは閉じた状態になります。
■スイングルーバーのすき間から冷風が若干出ますが、故障ではありません。
■除湿運転をするときは、お部屋を閉めきった状態でお使いください。
■排熱口から温風が出るため、室温が上昇します。
■スイングボタンの操作はできません。
■吹出口周辺が結露することがありますが、故障ではありません。

送風運転

送風ボタンを押します。

■スイングルーバーが開いて、吹出口より風を吹き出します。
■送風ボタンを１回押すごとに 強 ↔ 弱 に切りかわりますので、ランプを確認のうえお好みの運転を選んでください。
■お好みで吹き出し方向を調節してください。(☞ 7〜8ページ)

7 切タイマー運転

設定のしかた

■運転ランプが点灯し、運転中であることを確認してください。
■切タイマーボタンを押してください。
- ■タイマーの初期表示は、設定時間が 1H(1時間後切)を表示します。
- ■タイマーランプは、切タイマーボタンを押すごとに右記のように順に切りかわり、切タイマーの設定ができます。

1H → 2H → 6H → 消灯(取消)

例 6時間後に運転を停止させたいとき ---➔ タイマーの設定時間を 6H に設定します。
(ランプは1H、2H、6H の3つのランプが点灯)
- ■運転時間が経過して残り2時間になると 6H のランプが消えます。(ランプ点灯は 1H、2H)
- ■さらに時間が経過して残り1時間になると 2H のランプが消えます。(ランプ点灯は 1H のみ)
- ■タイマー終了時(運転停止時)は、お知らせ音(停止音)が鳴り全てのランプが消灯します。

8 内部乾燥運転

運転後や長期間お使いにならないときに内部乾燥運転をすると、本体内部を乾燥させ、いやなニオイの原因となるカビや細菌の繁殖を抑えます。

停止中に切タイマーボタンを押すと、内部乾燥運転を開始します。

■内部乾燥運転中は、スイングルーバーは閉じた状態で内部乾燥ランプのみ点灯します。
■運転開始約1時間後に自動停止します。
(途中で運転を停止したいときは、運転/停止ボタンを押してください。)

6H
2H
1H/内部乾燥
停止中
切
タイマー
内部乾燥(停止

お知らせ

■運転中に切タイマーボタンを押すと、切タイマー運転となるので、停止後再操作してください。
■スイングルーバーのすき間から風が若干出ますが、故障ではありません。
■本体内部にこもった湿気を排熱口より放出するため、室内の湿度が上がることがあります。
※付属の排熱ダクトを使用することにより、本体にこもった湿気を室外へ放出することもできます。
(☞ 排熱ダクトの使いかた 9ページ)
■すでに発生したカビや雑菌を除去するはたらきや、殺菌効果はありません。

9 吹出方向の切りかえ

冷風・送風運転時 (吹出口)

冷風効果をより高めるために、風向をスイングルーバー(左右ルーバー)と上下ルーバーで調節してください。

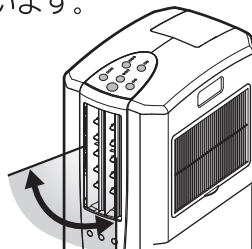
スイングルーバー(左右ルーバー)

ワイド
スポット
スポットリズム
スイング

スイングボタンを押します。
■スイングボタンを1回押すごとに、スポット → ワイド → 停止 → スポットリズム の順で切りかわりますので、ランプを確認のうえスイングボタンを押してください。

お知らせ ■除湿運転時は、スイングボタンは操作できません。

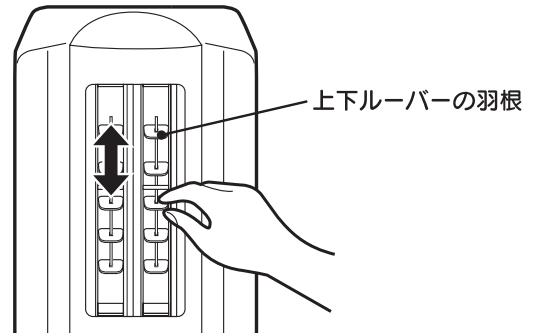
■スポットスイング
約40°の範囲でスイング運転をおこないます。

■ワイドスイング
約80°の広角範囲でスイング運転をおこないます。

■スポットリズム
スポットスイング運転をおこないながら自然に近いリズム風運転をおこないます。

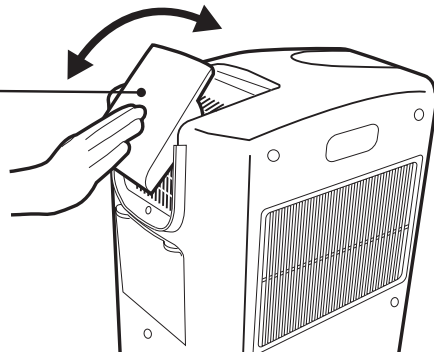
リズム風
自動的に風量が変化し、ゆらぎ感のある自然な風となります。

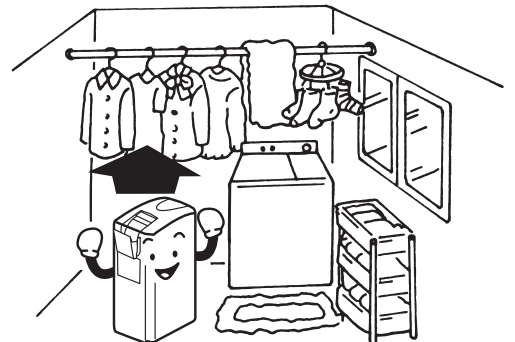
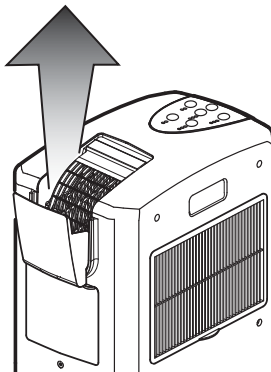
上下ルーバー

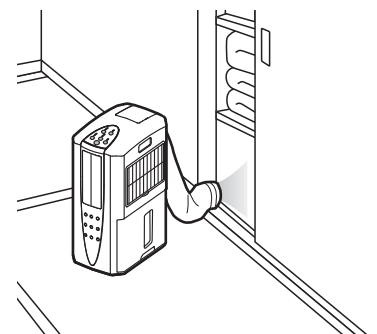
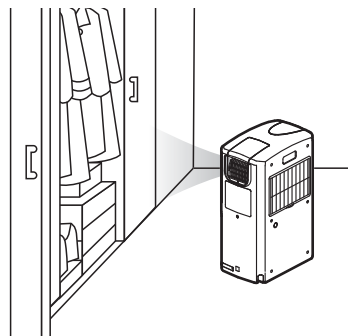
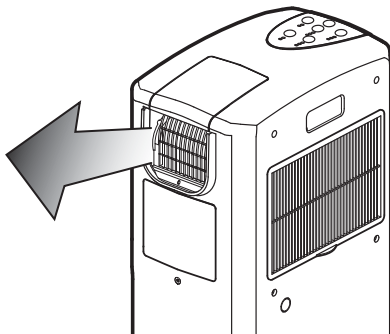
⚠注意

スイングしているルーバーにさわらないでください。
手をはさまれるとケガの原因になります。
上下ルーバーの調節は、スイング運転をOFFにした状態でおこなってください。
吹出口の断熱材は、はがさないでください。

上下ルーバーの羽根を持って調節します。

衣類乾燥・除湿運転時 （排熱口）

用途に合わせ、ランドリールーバーの向きをかえます。

■上吹き出し

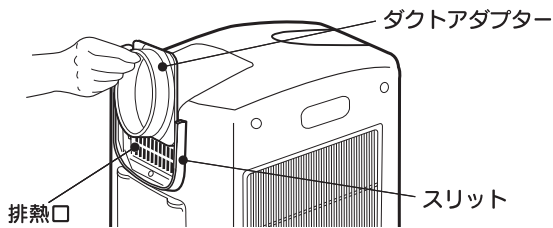
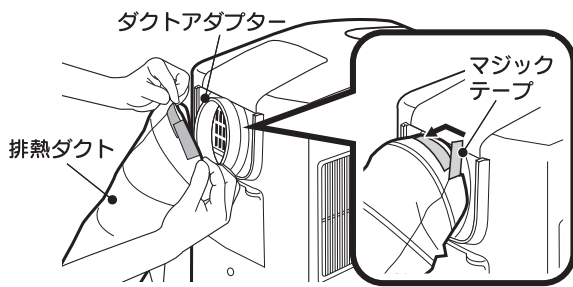
洗濯物が外に干せない梅雨どきなどに

■後吹き出し

押入れ、クローゼット、シューズボックス、リビングの除湿に

お知らせ

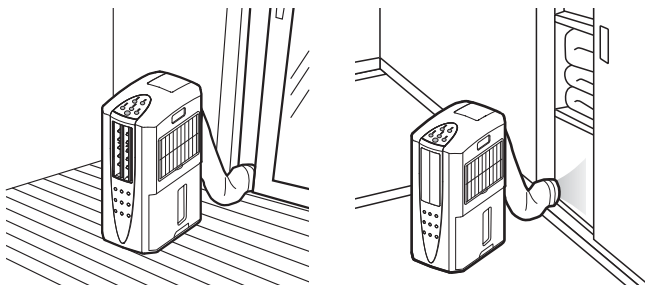
■付属の排熱ダクトを使用することで、より効果的にお使いになれます。
（☞ 排熱ダクトの使いかた 9ページ）

10 排熱ダクトの使いかた

背面から排出される温風を室外に排出するための排熱ダクトを付属していますので、冷風運転が効果的にできます。また、押入れなどをスポット的に乾燥するときも、効果的に使うことができます。(※ダクトが折れ曲がったり、つぶれたりしたときは、冷風・除湿能力が低下したり、保護装置がはたらき風量が上がったり運転ができないことがあります。)

排熱ダクトの取付方法

ダクトアダプターを排熱口のスリットに差しこみます。

排熱ダクトをダクトアダプターに取り付け、マジックテープでしっかり固定します。

ご注意

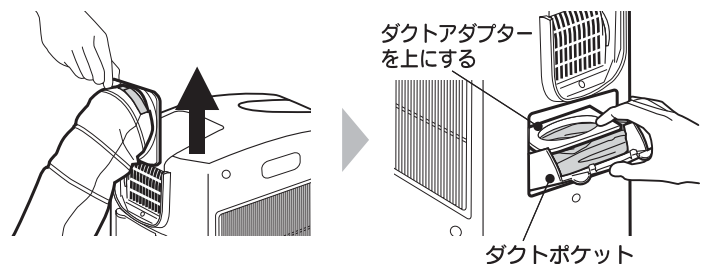
■マジックテープの固定がゆるいと、温風により排熱ダクトがはずれることがあります。

【冷風運転時】 【スポット乾燥時】

排熱ダクトをお部屋の外まで延ばし、排熱を室外に排出します。(冷風運転が効果的にできます。)
押入れなどをスポット的に乾燥したいときは、排熱ダクトを乾燥したい所まで延ばして使います。

ご注意

■冷風運転時は、エアコンのようにお部屋全体を冷やすことはできません。
■雨風が強い場合は運転を停止し、窓を閉めてください。
■お部屋全体を除湿する場合はダクトをはずし、窓を閉めて除湿運転をしてください。
■排熱ダクトを引張って本体を移動しないでください。転倒のおそれがあります。
■排熱ダクトをお使いになるときは「パワフル」または「標準」をおすすめします。室温が30℃を超えて「弱」で使用した場合、保護装置がはたらいて風量が上がることがあります。

排熱ダクトの収納のしかた

排熱ダクトを取りはずします。
(ダクトアダプターはつけたままでかまいません。)
ダクトポケットをあけ、排熱ダクトをたたんで収納します。

11 標準ダクトパネルについて

付属の標準ダクトパネル(HDP-70M)を使用することで、冷風運転時により効果的に排熱処理をすることができます。
※本品の取り付け可能な窓高さは、82cm～133cmです。

標準ダクトパネルの使いかた

※詳しくは同梱の「ダクトパネル取付説明書」をご覧ください。

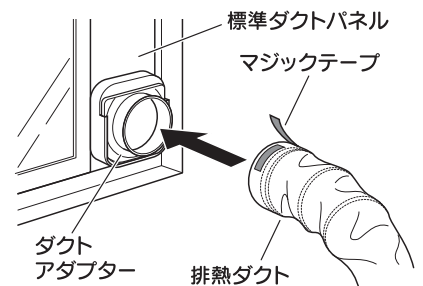
■標準ダクトパネルを窓へ取り付けます。
■排熱ダクトを標準ダクトパネルに取り付けたダクトアダプターにマジックテープで取り付けます。

標準ダクトパネル
マジックテープ
ダクト
アダプター
排熱ダクト

標準窓以外の窓には

付属の標準ダクトパネルの取り付け可能な窓高さは82cm～133cmです。
これ以外の窓への取り付けは下記別売品をお買いあげの販売店でお求めください。

■**テラス窓の場合**(窓高さ 133cm～200cm)
別売のテラス延長キッド(HDP-70T)が必要になります。
ただし、窓高さ162cm以下の場合はパネルのカットが必要です。

■**小窓の場合**(窓高さ 40cm～82cm)
別売の小窓用ダクトパネル(HDP-50M)が必要になります。
ただし、窓高さ72.5cm以下の場合はパネルのカットが必要です。

ご注意

■ダクトパネルは床から窓の下端が100cm以上の場合は取り付けできません
■ダクトパネル使用時は、パネル後面の窓を開けてお使いください。

12 満水のお知らせとタンクの水のすてかた

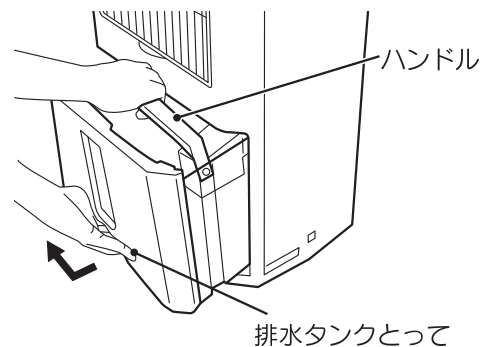
満水のお知らせ

排水タンクに約5.8Lの水がたまりますと自動的に運転を停止し、満水メロディーが鳴り運転ランプが点滅してお知らせしますので、排水タンクの水をすててください。

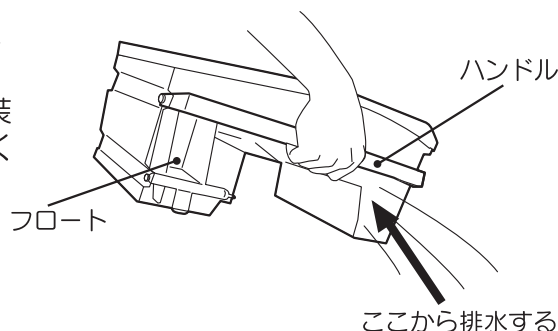
排水タンクの水のすてかた

1 排水タンクを取り出します。

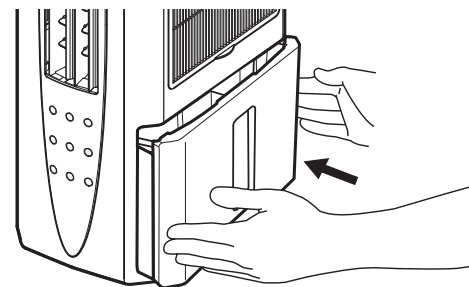
■排水タンクをハンドルが見える所までゆっくりと少し引き出し、とってを上に持ち上げながら両手でゆっくりと取り出してください。

■ 運転停止直後に排水タンクを取り出すと、残っている除湿水が本体内部に滴下することがありますので、30分以上してから取り出すことをおすすめします。
滴下した場合は布などでふきとってください。

2 水をすてます。

■排水タンクのハンドルを持って静かに運び、水をすててください。内部をよくすすぎ、外側の水をふき取ります。

■ フロートの中に水が残っていると、満水時の自動停止装置が正常にはたらかないので、完全に水をふき取ってください。

3 排水タンクを戻します。

■必ずハンドルをねかせ、静かに奥まで確実に押し込んでください。水をすてる前の状態で自動的に運転を始めます。

■ 排水タンクが正しく入っていないと、運転できません。

ご注意

■排水タンクを取り出した後、内部の部品に触れないでください。
■排水タンクを必ず正しく入れてください。正しく入っていないと満水メロディーが鳴り、運転ランプが点滅して運転できません。
■フロートの中に水や物を入れて運転しないでください。満水時の自動停止装置が正常にはたらきません。
■排水タンクを引き出しすぎると、排水タンクが本体より落下して、水がこぼれるおそれがあります。

満水メロディーを鳴らしたくない場合

運転停止中に切タイマーボタンを**3秒以上**押すと「ピー」と音が鳴り、メロディー音の鳴らない設定となります。
もとに戻したい場合は、同じ操作をもう一度おこなうか、電源プラグを一旦抜き、3秒以上たってから差しこみ直してください。

お知らせ

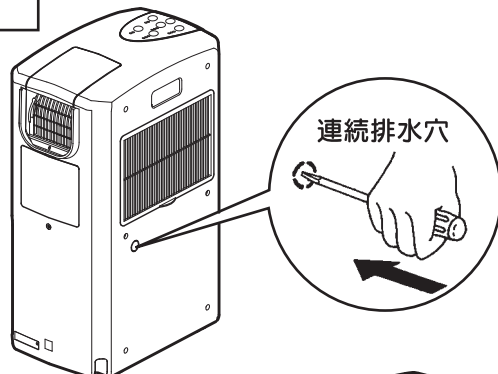
■電源プラグを一旦抜くと、メロディー音の鳴る設定に戻ります。

13 連続排水

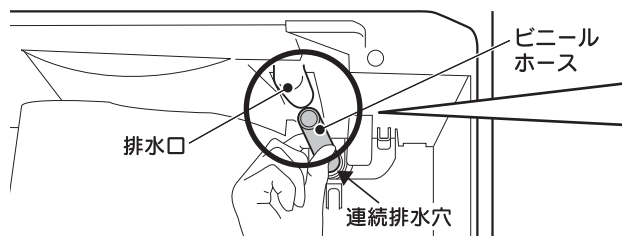
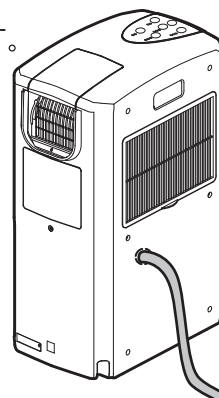
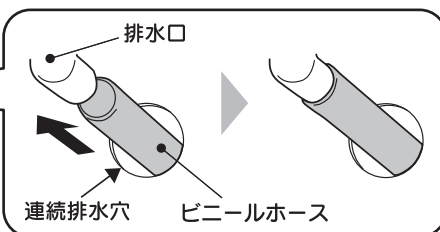
近くに排水できる場所があれば連続排水ができます。
必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、排水タンクを取り出してからおこなってください。

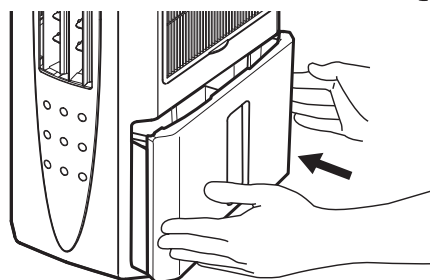
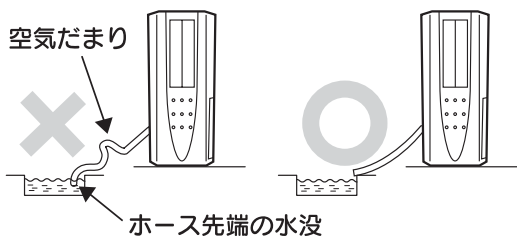
■ご用意いただくもの
- ■ヤスリ
- ■ドライバー
- ■排水ホースとして市販品のビニールホース（内径15～16mm）

1 連続排水穴をあけます。

■排水タンクを取り出し、本体の連続排水穴をドライバーなどで押して打ち抜き、穴の端面をヤスリなどで仕上げます。

連続排水穴

2 排水ホースを取り付けます。

■連続排水穴からホースを通し、ホースの先を排水口の奥までしっかりと差し込みます。

【排水タンクを取り出し本体側から見た図】

3 排水タンクを取り付けます。

■排水タンクが正しく入っていないと運転できません。

ご注意

■排水ホースは必ず先下りの勾配をつけ、水が流れることを確認してください。
■排水ホースの先端を水中に入れたり、途中で高くなったり曲がったりしていると排水できません。
■排水ホースの差し込みがゆるいと水もれするおそれがありますので、排水口の奥までしっかり差し込んでください。

14 キャスター移動

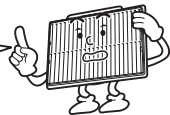
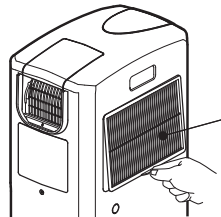
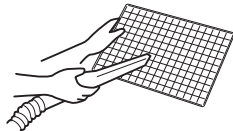
■本体を移動するときは、運転を停止し必ず排水タンクの水をすててください。（☞ 排水タンクの水のすてかた　10ページ）
■とってを持ち、キャスターを使って移動してください。
■部屋間の仕切りや、凹凸のある場所、階段、傷のつきやすい床などは、本体を持ちあげて移動してください。

ご注意

■キャスターで本体を移動するときに、床の材質によっては床に傷がつくおそれがあります。
傷のつきやすい床や凹凸のある場所では持ち上げて移動してください。
■本体を傾けてキャスター移動しますと床の表面を傷つけます。また、本体内部の残水がこぼれ床などをぬらすことがあります。

15 お手入れのしかた

⚠注意

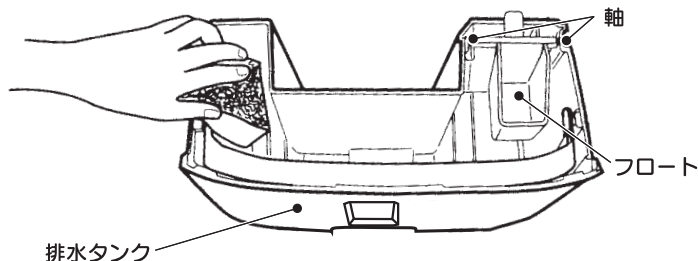
お手入れをするときは、必ず運転を停止し、電源プラグも抜いてからおこなってください。
本体内部の熱交換器のアルミフィンにさわらないでください。ケガをするおそれがあります。
本体内部の洗浄はお客様自身ではおこなわず、必ずお買いあげの販売店またはコロナお客様ご相談窓口に相談してください。
本体の水洗いはしないでください。感電のおそれがあります。
エアフィルターのお手入れ（2週間に一度）

２週間に一度はお手入れをしてください。
エアフィルターにほこりがつまると風量が減少し、能力が低下します。

エアフィルター下部のつまみをつまんで、上に引き上げながら手前に引いて取りはずしてください。

エアフィルターのネットは、はずして掃除機を使用するか軽くたたいてください。
汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。
洗った後は、よくすすぎ、日陰で乾かしてからもとどおり取り付けてください。

ご注意

- ■エアフィルターにほこりがつまると、風量が低下して保護制御がはたらき、正常に運転できなくなります。
- ■エアフィルターをはずしたまま運転すると内部にごみが付着し、故障の原因になります。
- ■製品は必ず正立で運搬・保管してください。

排水タンクのお手入れ

排水タンク、フロートともに水洗いしてください。

フロートの中の水をふき取ってください。フロートの中に水が残っていると、満水時の自動停止装置が正常にはたらかないことがあります。
また、フロートの軸がはずれたまま運転しますと、水があふれます。

やわらかい布でからぶき

やわらかい布でからぶきしてください。

掃除機などでお手入れ

吸込口･吹出口･排熱口を掃除するときは､ロングノズルなどでおこなってください。

揮発性のものは使わない

ベンジン・シンナー、みがき粉、化学ぞうきんなどを使用すると変形や割れることがありますので使用しないでください。

40℃以下のお湯を使う

40℃以上のお湯は使わないでください。
変形することがあります。

長期間使わないとき

- ■運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
  電源コードは、まとめてバンドで止め、バンドをコード掛けに差し込んで掛けてください。
- ■排水タンクの水をすててください。
- ■エアフィルターを掃除し､もとどおりに取り付けてください。
- ■やわらかい布で本体をからぶきしてください。
- ■直射日光のあたらない場所に保管してください。

点検整備のおすすめ

本品は数シーズンお使いになりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。
点検整備は、お買いあげの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。

16 このようなときには

修理・サービスをお申しつけになる前につぎの点をお調べください。

	症　　状	原　　　　因
故障ではありません	運転しているが冷風が出ない	■運転停止後約３分間は保護装置がはたらいているため送風のみとなります。 ■室温が15℃以下の場合、内部の熱交換器に霜がつくことがあり、このようなときは霜取運転をおこない送風となります。霜取が終了すると運転を再開します。 ■送風運転になっていませんか。 ■室温が高すぎませんか（使用温度範囲５～35℃） ■排熱ダクトがつぶれていませんか。
	上面があたたかくなる	■排熱のためあたたかくなりますが、異常ではありません。
	排水タンクに露がつく	■除湿水が冷たいため湿度が高いときは、露がつくことがあります。
	運転中や停止直後に"シュル""シュル"と音がする	■内部の冷媒(冷却液)が流れる音です。異常ではありません。
	風量が運転中に上昇する	■室温が約30℃以上になると､保護装置が作動し､風量が自動的に上昇するときがあります。 ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。 ■排熱ダクトがつぶれていませんか。 ■スポットリズム運転になっていませんか。 ■ダクトパネルの排気板が閉じていませんか。
	吹出口周辺に露がつく	■冷風運転時に湿度が高いと、冷風により露がつくことがあります。 ■除湿運転時に湿度が高いと、空気を除湿するときに発生する冷風がスイングルーバーのすき間よりわずかに出るため、露がつくことがあります。
もう一度お調べください	運転しない	■ご家庭のブレーカーやヒューズが切れていませんか。 ■停電ではありませんか。 ■電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ■排水タンクが正しく入っていますか。 ■排水タンクが満水になっていませんか。
	冷風・除湿能力が低下した	■エアフィルターが目詰まりしていませんか。 ■吸込口・吹出口・排熱口がふさがれていませんか。 ■部屋の温度、湿度が低くありませんか。 ■排熱ダクトがつぶれていませんか。 ■ダクトパネルの排気板が閉じていませんか。
	なかなか湿度が下がらない	■ドア、窓の開閉が多くありませんか。 ■石油ストーブ、その他水蒸気が出るものがありませんか。 ■部屋が広すぎませんか。 ■送風運転になっていませんか。 ■排熱ダクトがつぶれていませんか。 ■ダクトパネルの排気板が閉じていませんか。
	音がうるさい	■不安定な場所で使っていませんか。 ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。 ■排熱ダクトがつぶれていませんか。 ■コンセントの電圧は100Vですか。 ■ダクトパネルの排気板が閉じていませんか。
	洗濯物がなかなか乾かない	■洗濯物に吹出風があたっていますか。 ■広い部屋で乾燥していませんか。 ■洗濯物の量が多くありませんか。 ■室温が低くありませんか。

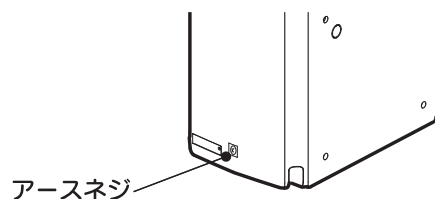
つぎの症状のときは、ただちに運転を停止し、電源プラグを抜き、販売店へご連絡ください。

■ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき
■電源プラグやコードが異常に熱いとき
■電源プラグやコードの被覆が破れているとき
■スイッチの作動が不確実なとき
■誤って異物や水を入れてしまった、本体を倒してしまったとき
■使用中に異常音がするとき
■その他、異常のあるとき

アースについて

水蒸気が充満する所や水気の多い所で使用する場合は、万一漏電したときにおこる感電を防止するために、本体背面のアースネジにアース線を接続してください。

⚠注意

不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

17 仕　様

(50/60Hz)

型　式		CDM-148
電　源		交流　100V　50／60Hz
除湿能力 (L／日)		12.0 ／ 14.0
消費電力 (W)		300 ／ 330（衣類乾燥運転時）
除湿可能面積の目安	木　造	25m²(15畳) ／ 29m²(18畳)
	プレハブ	38m²(23畳) ／ 44m²(27畳)
	鉄　筋	50m²(30畳) ／ 58m²(35畳)
排水タンク容量		約5.8Lで自動停止
総　質　量 (kg)		13.5
外形寸法（高さ×幅×奥行）(mm)		600 × 250 × 386
付　属　品		排熱ダクト･ダクトアダプター･標準ダクトパネル（取付説明書･取付用付属品･ダクトアダプター含む）

■除湿能力は室温27℃、相対湿度60％を持続する室内で運転したときの１日あたりの数値です。（衣類乾燥運転時）
■除湿可能面積の目安は、JEMA（日本電機工業会）規格に基づいた数値です。
■待機電力は約０.５Wです。
■製品は改良のため仕様の一部がかわることがあります。
■長期間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

18 修理・保証

修理サービスについて

■冷風・衣類乾燥除湿機の補修用性能部品の保有期間は製造打切後８年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。くわしくはお買いあげの販売店またはお近くのコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。
■保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜いたのち、お買いあげの販売店にご連絡ください。
ご連絡の際には、つぎの５点をはっきりとご連絡ください。

■型式（品番）
■お買いあげ日
｝保証書をごらんください。
■故障内容
■ご住所・ご氏名・お電話番号
■訪問ご希望日

保証書について

このコロナ冷風・衣類乾燥除湿機には「保証書」が付いています。
■保証書はお買いあげの販売店でお渡しいたしますので、必ずお受け取りください。万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたしますので、保証書記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
■保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときは、すぐにお買いあげの販売店にお申し出ください。
■このコロナ冷風・衣類乾燥除湿機の保証期間はお買いあげいただいた日から１年（ただし、冷却装置の保証期間は３年）です。
保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。
その他詳細は保証書をごらんください。

ご相談先　お客様ご相談窓口一覧表をごらんください。